

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-5-1	事務事業名 菅平少年自然の家運営管理事業	所管部課 生涯学習部菅平少年自然の家					
事務事業の概要	事務事業の目的 良好な自然環境の中で、心身ともに健全な少年の育成を図るための施設であるとともに、安全で快適に利用できる市民保養施設として管理運営を行う。	総合計画上の位置づけ					
	実施内容、実施方法 全ての利用者(市内在住等は問わない)を対象に、現地に受付事務や予算執行事務などの施設運営管理全般に携わる市職員2名を配置し、建物管理業務や給食業務は民間業者に委託している。	根拠法令等 西東京市菅平少年自然の家条例 西東京市菅平少年自然の家管理規則					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 少年自然の家営業日数	活動指標の考え方(定義) 少年自然の家を管理運用している日数(宿泊可能日数)					
	成果指標名 少年自然の家利用者数	成果指標の考え方(定義) 少年自然の家を利用している人数(客室数に対する稼働率40%を目標:6,300人)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		44,017	44,479	41,017	44,054	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		44,017	44,479	41,017	44,054	
	所要人員(B)	人	1.40	1.40	1.40	1.40	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	11,544	11,582	11,659	11,659	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	55,561	56,061	52,676	55,713	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(少年自然の家利用者数)	千円	9.03	9.81	9.76		
	歳入	千円	13,524	12,337	11,239		
	活動指標	目標値	日			261	263
		実績値	日	262	262	261	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			6,300	6,300	
	実績値	人	6,150	5,717	5,397		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	アンケートでは、利用者要望は特いない。古い建物ではあるが綺麗に管理されている。また、食事も美味しいとの評価が多い。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都26市のうち15市が同様の施設を持ち、民間でも類似施設は数多くある。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	31年を経過した建物で老朽化も進んできており、配管関係やボイラー類の故障等も多くなっているのが現状である。また、バリアフリー対策も遅れており対応が必要な施設である。					

コード 13-5-1	事務事業名 菅平少年自然の家運営管理事業	所管部課 生涯学習部菅平少年自然の家
---------------	-------------------------	-----------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	学校教育の移動教室利用は目標を達成できたが、市民一般利用者の減少が大きく、全体では目標の85%の利用者数であった。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	少年の健全育成を図る役割を持つ当市唯一の宿泊施設であり、多くの少年が移動教室等で利用し、恵まれた自然環境の中で生き生きと活動している施設である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市職員は最少人数である2人を配置している。経費面でも、できる限りの施設業務を民間委託にしており、菅平地域にある渋谷区の施設と比較しても効率的な運営である。また、一般利用者の宿泊料金も菅平地域の民宿、旅館等と比較して低額すぎることはなく、現時点では妥当な金額である。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	当市の全小学校が移動教室で使用しているため、費用面で保護者負担の軽減に役立っている施設である。また、誰でもが利用できる施設であり、施設管理業務の大半を民間委託で行っているため運営も効率的である。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本の見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市民をはじめとする一般利用者の利用が減少しているため、情報提供手段の見直し等により利用者増を図っていく必要がある。

17年度における改善点	近隣5市の多摩北部都市広域行政圏協議会を通じ、各市宿泊施設の利用促進を目的にスタンプラリー事業の実施と施設案内の市報掲載を行う。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本の見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本の見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。